

フォーラムエイト ラリージャパンの冠スポンサーに イベントエリアでメタバース体験提供

F8VPSで空間構築

11月16-19日の4日間、愛知県・岐阜県を舞台に世界ラリー選手権(WRC)最終戦となる「フォーラムエイト ラリージャパン2023」が開催された。昨年の2022年大会から日本のVRソフト開発企業のフォーラムエイトがタイトルスポンサーとなったことで12年ぶりのWRCの公式戦の日本での開催が実現した。今年もフォーラムエイトがタイトルスポンサーとなり、2年連続でのWRCの公式戦の最終戦が日本開催となった。イベントエリアにおいては、メタバース体験やラリーのシミュレーター体験を提供した。

フォーラムエイトは、日本のモータースポーツ界において昨年の3位に続き今年も5位と健闘した。今年の日本開催では優勝から3位までをトヨタチームが独占したヨタ自動車のお膝元である愛知・岐阜での地元大会に花を添えた。

表彰式には、フォーラムエイト社長の伊藤裕二氏も駆けつけ、トヨタチームの上位独占を祝福し、フォーラムエイト賞を贈呈した。

今年度は愛知・岐阜での公道でのラリーレースに加えて豊田市の豊田スタジアム内でもラリーレース体験やラリーシミュレーター体験を提供した。フォーラムエイトの伊藤裕二社長は「WRCの公式戦はしばらく日本での開催がなかった。当社は自動運転など自動車関連のVRなどを中心とした自動車分野での技術開発には以前から力を入れていた。WRC公式戦のスポンサーの話が3年前にあり、母国開催となるラリーシ



伊藤社長

来年(2024年)もWRCの日本ラウンドのトップスポンサーとなることを決めている」と話す。

TOYOTA GAZOO Racing(トヨタ)の勝田貴元選手は「ヨタ自動車のお膝元である愛知・岐阜での地元大会に花を添えた。」とコメントした。



豊田スタジアムの会場内に設置したフォーラムエイトの体験ブース



「バーチャル フォーラムエイト ラリージャパン 2023」のメタバース画面



メタバースコーナーで説明する松田氏



ラリージャパンの様子は豊田スタジアムに設置された大型LEDビジョンでライブ中継した

フォーラムエイトは、日本のモータースポーツ界において昨年の3位に続き今年も5位と健闘した。今年の日本開催では優勝から3位までをトヨタチームが独占したヨタ自動車のお膝元である愛知・岐阜での地元大会に花を添えた。

表彰式には、フォーラムエイト社長の伊藤裕二氏も駆けつけ、トヨタチームの上位独占を祝福し、フォーラムエイト賞を贈呈した。

今年度は愛知・岐阜での公道でのラリーレースに加えて豊田市の豊田スタジアム内でもラリーレース体験やラリーシミュレーター体験を提供した。フォーラムエイトの伊藤裕二社長は「WRCの公式戦はしばらく日本での開催がなかった。当社は自動運転など自動車関連のVRなどを中心とした自動車分野での技術開発には以前から力を入れていた。WRC公式戦のスポンサーの話が3年前にあり、母国開催となるラリーシ

フォーラムエイト デザインフェスティバル2023

3D・VRコンテンツ

韓国・ソウル市立大が大賞

シミュレーターで自動運転検証

11月8-10日には、東京都港区の品川インターステイションホールで「フォーラムエイト デザインフェスティバル2023」が開催された。国内外からUC-win/Roadによる高度なVRデータ作品が集められる3D・VRシミュレーションコンテストは、UC-win/Roadに追加して、コンテ

が「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞した2002年にスタート。デザインフェスティバルのメインイベントとして毎年開催し、今年で22回目を迎えた。

2011年からVR/ARデータ作品を集める3D・VRシミュレーションコンテストは、UC-win/Roadに追加して、コンテ

「DX研修用デジタル教材・除雪シミュレーター」が選ばれ、関係者が表彰を受けた。

インフラDX推進のため、若手技術者を対象とした研修コンテンツを作成している。道路・橋梁の管理知識、測量や施工の管理等を学ぶVR教材、安全指導や遠隔操作を目的としたバックホウシミュレーター、安全・操作技術向上のための除雪シミュレーターを作成し、研修に使用している。

シナリオを実行すると、舗装の構造や劣化、点検と補修のイメージを見ること



各賞の受賞者

には、韓国のソウル市立大が受賞した。テーマは「自動運転車両の車間距離受容性における挙動による利用者満足度の評価」。利用者が好む自動運転車両の車間距離の受容性を確認するため、UC-win/Roadで作成し、被験者が自動運転のバーチャルドライビングを体験する際に、脳波、筋電図、瞳孔の大きさ、心拍

数値を測定。体験後に実施したアンケートの結果と生体データを解析し、自動車技術者を対象とした研修コンテンツを作成している。道路・橋梁の管理知識、測量や施工の管理等を学ぶVR教材、安全指導や遠隔操作を目的としたバックホウシミュレーター、安全・操作技術向上のための除雪シミュレーターを作成し、研修に使用している。

シナリオを実行すると、舗装の構造や劣化、点検と補修のイメージを見ること

ルタイム・バーチャルリアリティソフト「UC-win/Road」で構築した3DVR空間をメタバースとしてクラウド展開できるアプリのフレームワーク。PC、タブレット、スマホなどのウェアラブルで、現実と同様のリアルタイムコミュニケーションが可能。クラウドシステムを短期間で作成できる。バーチャルオフィスやバーチャル展示会、ウェビナー等コミュニケーションツールとしても活用される。さらに自動車レースのシミュレーションコーナーなどを設置。多くのファンが、ラリードライバになった気分をシミュレーターを楽しんでいた。